

作業連絡用通信システム

mics Pro

能率のいい共同作業のために、いまや欠かせない無線。
なかでもおすすめしたいのが、軽快なハンズフリーで、日常会話のように
スムーズなコミュニケーションができる複数同時通話方式——
インカムシステムです。免許も資格も申請も不要で、即戦力。
しかもミックス・プロなら、必要な数だけ子機が利用でき、
さらにひとまわりワイドに話せますので、連絡がしっかりゆきわたります。

ミックス・プロ
MS823
総務省技術基準適合品
No License



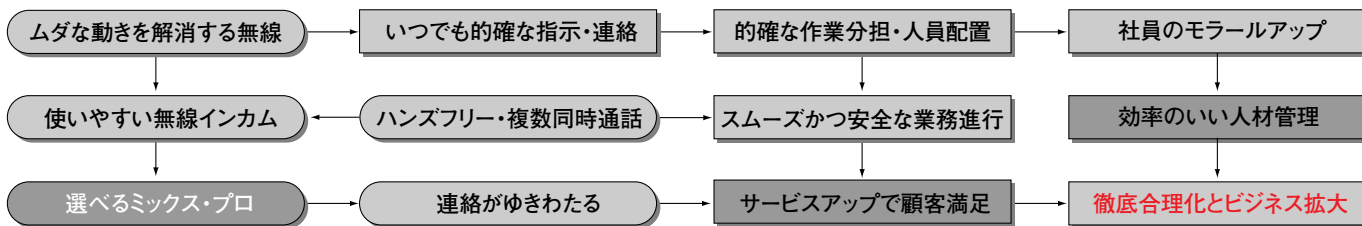
人の数だけ、子機の数。

話せる人が限られていては、
世間もビジネスも、広がらない。

子機がゆきわたる。連絡がゆきわたる。

mics Pro

大規模になるほどに、プロのミックスです。



持ち場を離れることなく、遠くの人と瞬時に連絡ができる便利な無線。そしてもっともっと便利に使えるのが、無線インカムです。作業をしながら話せるハンズフリーで、日常会話のように複数の人が同時に話せる気楽な同時通話方式。大切なメッセージがスピーディにタイムリーに伝達できます。特に強力なチームワークで業務運営を図りたいビジネス現場では、確実な指示・誘導のためにも、ぜひ導入したいものです。

スタンダードが納得のシステムをご提案します。Multi InterCom System——MICS「ミックス」。大規模利用のための「ミックス・プロ」です。システムづくりがラクなシンプルな機器構成ながら、独自の新方式を採用することにより、グンとスケールの大きな連絡網をつくることができます。しかも一段とワイドな通話エリアと優れた耐環境性を実現しました。迅速・確実・綿密な無線連絡。選ぶなら、「ミックス・プロ」。



こんなビジネスで即戦力。業態・用途にあわせて、自由なシステム構築ができます。

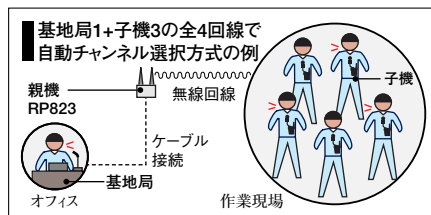
- アミューズメントホール・パーラーではオフィスのマネジャーとスタッフ間で
- 外食産業ではお客さまの案内やオーダー連絡に
- 大型店舗では部署間連絡でサービスアップ
- アミューズメント施設の巡回・保安に
- 倉庫・物流センターでの構内連絡に
- 工場をはじめ各種構内作業に
- 建設・工事現場での作業連絡に
- 港湾・製鉄所などでのクレーン作業や保安業務に
- 駅では整備作業・保全業務に
- 発電所では保全点検・業務連絡に……

大規模に、高品位に。余裕ある連絡網の構築を実現する「ミックス・プロ」。

子機が無数に使え、全員に発言権があるミックス・プロだけの独自方式。

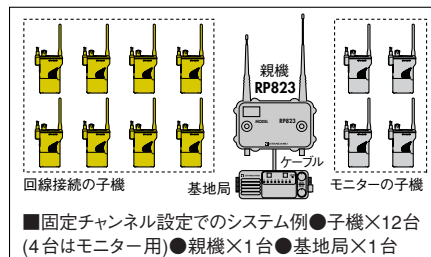
作業グループのなかの誰からでも連絡ができなければ、万全ではありません。ミックス・プロなら、必要とする人すべてに子機がゆきわたります。そしてどの人からも話しかけることができます。これが、子機を携帯する全員に通話のアクセス権があるミックス・プロ独自の回線自動選択方式です。連絡が、安全が、しっかりとゆき届きます。子機だけでなく最大7者間で。さらに基地

局を追加すれば、回線がプラス1。



従来のチャンネル固定方式もOK。大規模対応の最大9者間同時通話。

多彩なニーズに応えられる、ゆとりの回線数です。チャンネル固定では、使用子機数が最大8台に限定されますが、基地局を加えて最大9者間もの同時通話が可能。もちろん通話内容のモニターだけなら、子機は自由に増設OK。



■RP823システムの同時通話最大数

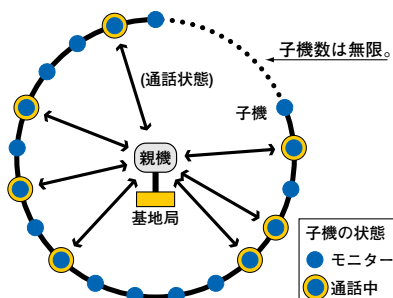
チャンネル固定方式	子機8+基地局1
チャンネル自動選択方式	子機7+基地局1

広くクリアな通話エリア。ビジネス連絡をハッキリと伝達できます。

アンテナ一体型の親機RP823は、アンテナ間のケーブル伝送ロスを解消。接続不良、断線といったさまざまな問題もいっきに改善。通信効率のいい送受信独立したアンテナとあいまって、格段に広いエリアで、安定した通話が行なえます。しかも子機は高感度設計。遠距離間でクリアな通信を実現します。親機とつながっているかどうか分かる圏外アラームつき。

独自のMICS Pro 安心・安全 合理的導入	免許・資格・申請不要
	設置・工事が簡単
	既存設備への追加が容易
	機械設備への影響のない微弱出力
	即戦力

■全子機に通話権があり、空きチャンネルに最大7者が移って会議通話できる独自方式。



※実際には、7名が同時タイミングで話すケースはほとんどありませんので、ほぼ常時アクセスできます。

必要とする人すべてに子機がゆきわたります。空いているチャンネルに自動的に移って話せる独自方式を採用。従来の固定チャンネル方式なら最大9者間同時通話を実現。大規模利用ができるプロのミックスです。

実力の「ミックス・プロ」。こんなにシンプルなシステム構成機器です。ご導入の企画・検討がラクラク。



※子機HX834は、マイク型マイク&イヤホン装着時です。
※基地局CX912は卓上型スタンドマイクと組み合わせた例です。

■基本システム構成機器

■信頼性の高い親機と軽快な子機。



① 親機

RP823

-20℃~+50℃

② 子機
(携帯型無線機)
HX834

※HX834をご利用になるにはオプションの送受器が必要です。



■デスクトップなどで使える基地局。

③ 基地局
制御監視装置
CX912

●回線使用状況をLED表示。ルックアップしたフロント部は脱着でき、見やすいアングルに天地差し替え可能。●トランペット型の外部スピーカーをつないで拡声放送もできます。

親機のここが違う。子機のここが違う。だから、「ミックス・プロ」。

優れた耐環境性で、毎日の業務をダイナミック・サポート。

核となる親機は、屋外設置も考慮しました。堅牢なダイキャスト製で、全天候型設計。子機も、同じIPX5相当(防噴流形)の防水性能で、ポリカーボネート・ボディやダイキャストシャーシ、超弾性アンテナなど、衝撃に強い構造です。

機動性が求められる業務に——。ミックス・プロがものをいいます。

約10cmほどのミニサイズでスリムな軽量ボディ。優れた携帯性を実現しています。しかも付属のリチウムイオン充電電池で、連続通話約11時間のスタミナ。わずか3本の単3アルカリ乾電池で約13時間も可能。1日の業務を余裕をもってこ



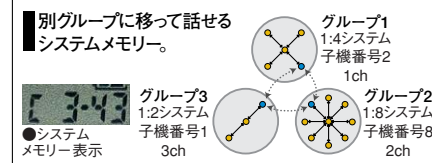
なします。バッテリー交換のタイミングもディスプレイとアラームで親切にお知らせ。

■子機HX834の電池交換の目安

電池の種類	連続通話時間
リチウムイオン充電電池CNB840	約11時間
単3アルカリ乾電池	約13時間
単3マンガン乾電池	約4時間

ワンタッチで3つの現場で使える子機。ミックスだけのシステムメモリー。

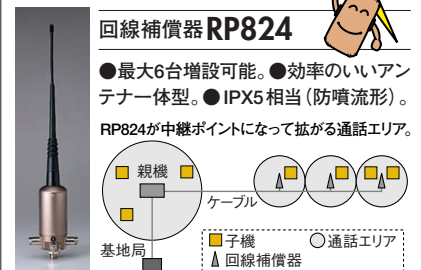
子機は、最大3グループ(現場)の親機の連絡網を記憶。ワンタッチでシームレスに別グルー



プに移って通話参加ができます。複数のミックスをご利用になる場合にはとても便利です。

「ミックス・プロ」は、さらに強力に大規模に。

親機と子機間に電波障害物がある場合や、通話エリアをさらに広げたいときに。文字通りの拡張ツールです。



※回線補償器は、1台につき約50mのケーブル延長が可能。
※回線補償器を使用する場合には、基地局申請が必要です。

利用できる人が限られていては、連絡は徹底できない——。

みんなが、つながる。合理化に、つながる。



ミックス万全の備え

さらに確かな業務連絡を行なうために用意したい周辺機器群。

必需品の子機用送受器は、用途にあわせてお選びください。

襟元にとめて、さりげなく通話できます。

タイプイン型マイク&イヤホン
CMP815



CMP816 (接話型)



●ケーブルにコールボタンを装備。



CMP816B (接話型)



●接話型なら、騒音下に強く音声をしっかり収音。

喉の振動を音声に。騒音環境に強いマイク。

●音声だけをクリアに伝達。耳掛け式イヤホン付属。咽喉マイク EM-01-834



ヘッドセットとしても使えるネックセット。

●首にかけて通話。ヘッドセット感覚でも使えます。ネックセット CHP823-2



スタンダードなヘッドセットタイプ。

マイク&フォーン CHP820-2
+ヘッドバンド CMB820



マイク&フォーン CHP820-2



ハードな現場のヘルメットタイプ。

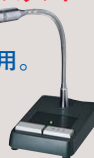
マイク&フォーン CHP820-2
+ヘルメットクリップ CMB821



基地局用のスタンドマイク。オフィスやクレームで。

シンプルなデスクトップ用。

卓上型
スタンドマイク
CMP825



強力マグネットで固定できます。

マグネット式
スタンドマイク
CMP826



子機を強化する充実のオプション製品。

電源部を合理的に。経済的な充電機と充電器。

バッテリーケース
CBT820F

●単3乾電池×3本の電池ケース。



急速充電器
CSA824

●本体装着したままでも単体でもOK。



リチウムイオン充電機
CNB840(1300mAh/3.7V)

●付属と同等品の充電機。スペアに、どうぞ。



6連急速充電器
CSB824

●最大6個の充電機に同時急速チャージ。



本体を傷やショックから守ります。

レザーケース
CLC821

●バッテリーケース装着時用。

CLC824

●リチウムイオン充電機装着時用。



※基地局用の外部スピーカーもあります。ご相談ください。



無線インカムのここが知りたい。

8人や9人がいっしょに話したら、話が混乱してしまうのでは？

確かに、その通り。でも、大勢が同時に話すということは、実際にほとんどありませんから、大丈夫。日常の会話でも、そういうケースがないのと同様ですね。むしろ、全員がつねに通話参加できる状態にあり、他の人たちが通話中でも、いつでも割り込んで連絡できるのが、最大の特長なのです。

子機だけで3者間通話ができればいいのだが……。

子機間だけの通話でも、親機が必要です。ちょうどコードレス電話のように。その点、親機と基地局が分離している「ミックス・プロ」は有利。無線インカムは、一度、親機を通して、音声の中継される仕組みです。つまり子機が送信した信号は、すべて親機で「ミックス」されて、ふたたび子機に送信されます。「ミックス」という名前は、こんなところからもきているのです。

同じミックスでも免許が必要な場合というのは？

無線インカムは、総務省令により、移動局はすべて免許・資格・申請不要になりました。ただし基地局利用には、従来通り免許が必要になります。具体例でいえば、「ミックス・プロ」では、回線補償器を使った場合です。もちろん免許が必要といっても、申請手続きだけで、販売店が代行しますので、ご安心ください。

ホール・コンピューターの音声を送れる？

可能です。スタンダードでは外部音声機器無線接続装置を用意しています。ホール・コンピューターの音声情報はもちろん、各種音声出力機器を接続して、「ミックス・プロ」の子機に飛ばすことができます。



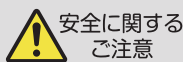
外部音声機器無線接続装置 YMX800

「ミックス・プロ」システム構成機器主要定格

親機RP823【一般仕様】●送受信周波数:400MHz帯の上り(受信)36チャンネル、下り(送信)12チャンネル●電波形式:F3E、F2D●通信方式:複信方式●定格電圧:12.0V●発振方式:水晶発振により制御する周波数シンセサイザ方式●アンテナ:1/2λ-棒型●周波数切替方式:手動切替/自動切替●寸法(突起物含まず):238(W)×154(H)×73(D)mm●質量:約270g【受信部】●受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン方式●受信感度:8.0dBμ以下(12dB SINAD)●スケルチ感度:-4.0dBμ以下【送信部】●送信出力:1mW●変調方式:可変容量ダイオードによる直接周波数変調

子機HX834【一般仕様】●送受信周波数:400MHz帯の上り(送信)72チャンネル、下り(受信)24チャンネル●電波形式:F3E、F2D●通信方式:複信方式●定格電圧:3.7V●発振方式:水晶発振により制御する周波数シンセサイザ方式●周波数の許容差:±4.0ppm●アンテナ:ヘリカルアンテナ(着脱可能)●周波数切替方式:手動切替/自動切替●寸法(突起物含まず):58(W)×106.5(H)×22(D)mm(CNB840装着時)●質量:約170g(CNB840装着時)【受信部】●受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン方式●受信感度:-4dBμ以下(12dB SINAD)●スケルチ感度:-6dBμ以下●低周波出力:3mW以上(8Ω負荷)【送信部】●送信出力:1mW●変調方式:可変容量ダイオードによる直接周波数変調

制御監視装置CX912【一般仕様】●消費電流:1A以下●使用電源電圧:12~24V●内部・外部スピーカーインピーダンス:8Ω●内部・外部スピーカー最大出力:1W以上●放送スピーカーインピーダンス:4Ω●放送スピーカー最大出力:1W以上●寸法(突起物・取付金具含まず):54(H)×152(W)×155(D)mm●質量:約800g
回線補償器RP824【一般仕様】●消費電流:150mA以下●定格電圧:12V●送信部:-10~0dBm入力に対し0dBm一定出力(-6dBアッテネータースイッチ付き)●受信部ゲイン:約20dB(-3dB、-6dBアッテネータースイッチ付き)



安全に関する
ご注意

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、感電などの原因となります。

●無線機を車で使用する場合には、安全のため、車の走行中に運転者は、操作をしないでください。必ず安全な場所に停車させて操作を行なってください。



株式会社 バーテックス スタンダードは、有限責任中間法人JBRCに加盟し
小型充電式電池のリサイクルを実施しています。
ホームページ(<http://www.jbrc.com>)

株式会社バーテックススタンダード 国内営業部

〒153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8 ☎03-3719-2231

営業所 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡

<http://www.vxstd.com/jp/>

●このカタログで使用している製品写真のディスプレイは、ハメコミ合成です。 ●製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。
●印刷の関係上、製品の色等は実際のものとは多少異なることがあります。 ●カタログの記載内容は、2011年11月現在のものです。

2011.11.10pSS(J) YSR0087357

